

令和元年度 学校関係者評価委員会 学校自己評価説明資料

1. スクールプランにおける本年度の重点項目

- 学力向上に関する取組
 - ・ 一部教科担任制や専科の導入
 - ・ 主題研究による「単元の始めや授業の導入で見通しをもたせる授業づくり」
- 体力向上に関する取組
 - ・ 足原小「体育年間カリキュラム」
- 心の育ちの推進
 - ・ 児童理解を中心に据えた打合せや研修
 - ・ 足原小学校「5つのめあて」
- 指導力向上・業務改善
 - ・ ベテランが若手を育てる「松下村塾型職員室」の創造
 - ・ 教科担任制や専科制に伴う授業時間の平準化
 - ・ 校務支援システムの活用によるペーパーレス化、打ち合わせ時間の短縮

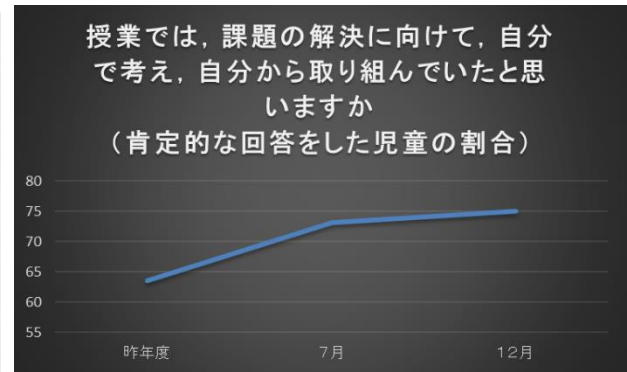
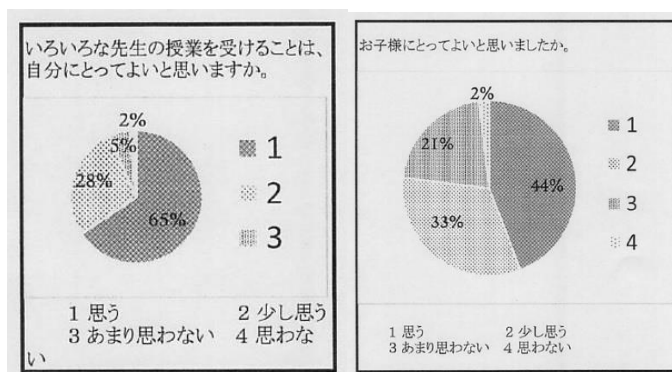
2. 結果と考察

○ 学力向上に関する取組

【結果と考察】

児童・保護者アンケート(10月)

6年生児童アンケート(昨年度→7月→12月)

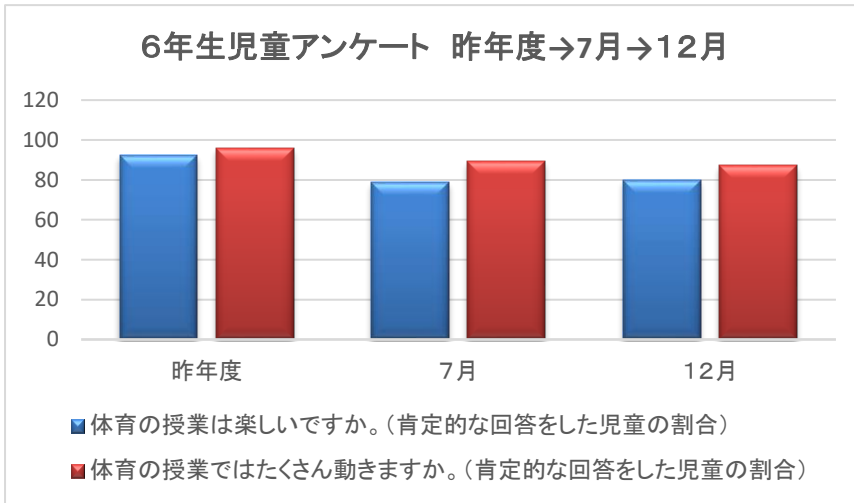


児童も保護者も一部教科担任制や専科を肯定的にとらえている
今年度より始めた一部教科担任制であったが、「色々な先生と関われる」「授業が分かりやすい」など肯定的な児童や保護者が多かった。

授業中、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が増えている
主題研究で「子どもに見通しをもたせる授業づくり」に取り組んだ結果、主体的に学習に取り組める児童が増えている。

○ 体力向上に関する取組

【結果と考察】

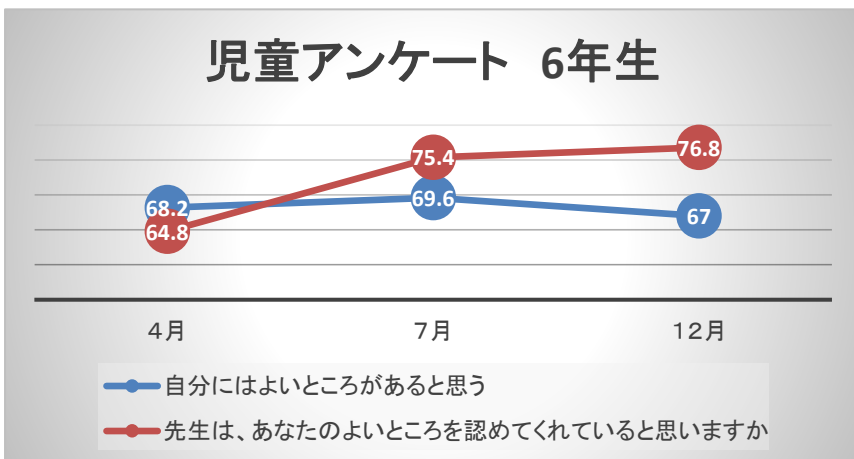


「楽しい授業」や「運動量の確保」を目指した体育の授業ができています

昨年度に比べ数値は下がっているが、およそ80%以上の児童が「楽しい」「運動量が多い」と思える充実した体育の授業ができています。足原小年間カリキュラムの作成でバランスよく体力を育てることもできています。

○ 心の育ちの推進

【結果と考察】

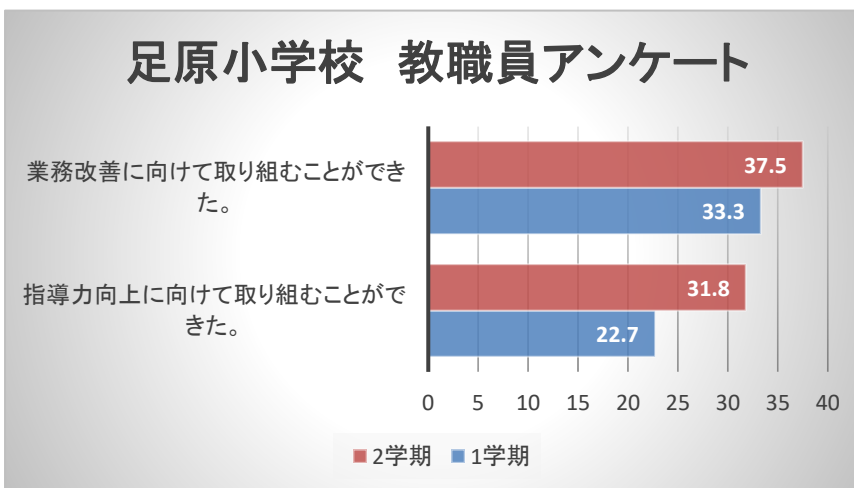


多くの先生と関わることで、認められている実感が増している

一部教科担任制や専科制により、多くの先生方と関わることで、認められている実感が増していることが分かる。ただし、自分にはよいところがあるという「自己肯定感」は高められていない。

○ 指導力向上・業務改善

【結果と考察】



業務改善はまだまだだが、指導力向上に向けて取り組めるようになってきた

業務改善については、1学期とほとんど差がなかったが、指導力向上については1学期よりも10%近く数値が向上した。業務改善を図り、さらなる指導力向上に向けた取り組みを進めていきたい。